

第3回草井区地元説明会質問等要旨

- 日 時 平成25年11月4日(月) 午後7時～午後8時48分
(1時間48分)
- 場 所 学習等供用施設草井会館
- 出席者 草井区住民28名(28世帯)
- 傍聴者 江南市議会議員8名
- 市役所 市長、副市長、教育長、生活産業部長、広域ごみ処理施設建設対策室長始め
対策室員5名
- 準備室 尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議準備室長始め準備室員
2名

(1) 候補地選定に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・市内から5つの候補地が挙げられているが、フラワーパーク江南の裏の鹿子島町船付も候補地として考えられないか。</p>	<p>・中般若町北浦は、平成20年度に江南市の候補地として選んだが、それ以外の4候補地は、昨年10月2日に江南市が候補地の受入を表明した後に、3haの一団の土地の中に、住居などが無いところを選び出したものである。鹿子島町船付については、堤防を傷めないように、河川保全区域に指定されているため、3ha程度の有効面積が確保できないので候補地としてあげていない。</p>

(2) 環境への疑問等に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・本年8月22日、23日に、岐阜羽島衛生施設組合のごみ焼却施設で、環境値のデータ改ざんがあったとの新聞報道があったが、この内容について、どれだけ把握をし、それに対してどのような未然防止を考えているのかを伺いたい。</p>	<p>・新聞紙上あるいは報道などで発表された事実について承知をしているが、今回の件に関して、岐阜羽島衛生施設組合に確認はしていない。</p> <p>データの改ざんはあってはならないことなので、今後、こうした点について、しっかりと協議をし、最善の努力をさせていただくことになる。</p> <p>岐阜羽島衛生施設組合のデータ改ざんの件については、今後しっかりと調査させていただく。</p> <p>【調査結果】</p> <p>組合が平成17年7月11日と平成18年6月26日の改ざん前とされる記録を入手し、一酸化炭素が国の排出基準値(100ppm)を一時的に若干上回るなど、神鋼環境メンテナンス㈱から組合に提出された日報と数値に複数のずれがあったとのこと。</p> <p>調査した結果、系統的にデータの書き換えが可能で、当時の元データが保管されていないことから、改ざんの実を検証できなかった。しかし、関係者への聞き取り調査等により、データ改ざんがあったと考えられることから、同年9月3日に岐阜羽島衛生施設組合に対し、調査結果を報告し、謝罪している。</p> <p>今後の対策としては、業者任せにしないこと、担当者任せにしないこと、系統的にデータの書き換えができないようにすること(江南丹羽環境管理組合はできないようになっている)などが考えられる。</p>

(3) 地域振興策等に関するもの

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・災害時に家庭への送電がダウンした場合に、ごみ処理施設から各家庭に電気を供給してもらえるのか。</p>	<p>・大地震の際には、ごみ処理施設も一旦停止するが、電力会社からの送電が停止していても、自家発電設備などで再起動ができれば再稼動できる。</p> <p>ごみ処理施設で発電した電気は、まずはごみ処理施設の稼動に必要な電力を確保した上で、ごみ処理施設と一体として整備した防災拠点、集会施設などの照明などに活用することが考えられる。さらに、余力があれば、電力会社に売電するが、地区を限って送電することは難しいと考えている。</p>
<p>・江南丹羽環境管理組合の施設に隣接する区に対して、地元協力金という形で支払いがされていると聞いているが、新施設ができた時にも、そういったお金が草井区に支払われるのか。</p>	<p>・江南丹羽環境管理組合の施設に隣接している大口町河北上郷区と犬山市羽黒第二区に、年間100万円ずつ交付されている。</p> <p>新施設ができたときの地元協力金の取扱いについては、今後、2市2町で検討していくが、現時点で支給していることや、社会情勢などを踏まえて協議していく。</p>
<p>・草井区では、地震のときはすいとぴあ江南が避難所として指定されているので良いが、風水害のときは2km程離れた草井小学校が避難所として指定されている。風水害にも対応できる防災拠点として、施設整備を考えてほしい。</p>	<p>・国土交通省木曾川上流河川事務所が発表しているハザードマップによると、草井町を含む中般若町北浦地区は、200年に一度程度の木曾川の氾濫においても、浸水の被害のない地区とされている。</p> <p>新ごみ処理施設が防災拠点として整備されれば、江南市の地域防災計画を見直し、皆様の避難所として位置付けていくことを考えていく。</p>

(4) その他

質 問 ・ 意 見 等	回 答
・今後、江南市として、どのように進めようとしているのかお伺いしたい。	・今後の進め方については、区長や区の役員の方としっかりとご相談をさせていただき、皆様の意見を確認しながら進めていきたい。 こうした説明会を通じていただいたいろんな意見を、1つずつご理解をいただきながら、地元同意を得て、その後、施設整備検討委員会の段階に進んでいきたいと考えている。
・中般若町北浦地内での建替えは考えていないということであるが、ごみ処理施設の20年から30年ぐらいの耐用年数が過ぎた後はどうなるのか。	・跡地利用については、例えば公園など、地元の皆様と意見を交換し、協議して、検討していきたいと考えている。
・地権者の同意は得られているのか。	・地元の同意を得た後に、地権者への説明会に入っていくので、もうしばらく後になる。
・江南丹羽環境管理組合は、施設の老朽化から、多額の税金を使い修繕していると聞かすが、その費用はどのようなものか。	・江南丹羽環境管理組合は、すでに稼働後30年を経過し、外壁などにクラックなどが入っているが、新施設ができるまでの間、安全に施設運営を行うために、補修工事ということで、現在、約1億5,000万円程度かけて工事を進めている。 3年前には18億円掛けて修理をした。 これから先、現施設の使用期間が延びれば延びる程、修理の費用が掛かることになる。 そうしたことから、平成30年度の新施設の稼働を目指して、一生懸命努力をさせていただいている。
・ごみ処理施設の3.4haの候補地に、地権者は何人いるのか。	・登記簿上の所有者が54名である。
・中般若町北浦地内での建替えは考えていないことだが、引き続きそこで建て替えることにならないのか。	・県のごみ処理広域化計画で、次回の建替えは、小牧市、岩倉市を含めた4市2町で建設することとされている。候補地を選定する際には、場所の問題、運搬経費の問題が大きな判断材料となるため、この場所での建替えはないと考えている。

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・新施設の費用と各市町の負担割合についてお伺いしたい。</p>	<p>・一般的に、ごみ処理施設の建設費用は、1 t／日当たり4,000万円から5,000万円と言われており、試算値の212 t／日で考えた場合、80億円から100億円程度掛かる。</p> <p>江南市の負担割合は、ごみの投入量で計算すると約40%となる。</p>
<p>・前回の説明会では「最終的には第1小ブロック会議で決めるため、確定できない。」との回答が多く、今回もほとんど「検討します」とか「考えていきます」ということで、「約束します」と言わない。どのようにして地元同意を得ようと思っているのか。</p>	<p>・この事業は2市2町の事業であることから、江南市が「確約する」とはなかなか言えないが、しっかりと皆様の要望を聞いて、その要望に応えることができるように、2市2町の中でしっかりと要望していきたいと考えている。</p>
<p>・地元同意は、どういう形で得るのか。また、どのように地元同意を得たと判断するのか。</p>	<p>・同意については、区からの書面によりいただくことを考えている。ただし、同意の取り方については、それぞれの区の事情が異なることから、区会の了承でいただけるのか、その他の方法を考えるのかを、今後、区長や区の役員の方と相談していきたい。</p>
<p>・どのような形で同意を取るかについては、草井区には草井区の区会があり、区会で審議し、区長が最終判断することになると思う。</p> <p>これまでの説明会で理解できたので、できるだけ早期に事業着手ができるように、検討して行ってほしい。</p>	<p>・ご意見を真摯に受け止めて、一日でも早い施設の建設に向けて努力をさせていただく。</p>